



木表・木裏・厚み違いの混材もすべてに対応

KJ-1

形状認識装置付き自動給材装置

HCR-460

巾決め用ツインオートリッパ

HCR-M

専用仕分け装置

〔耳付き材の巾決め木取りを自動化したニューマシン〕

高能率・高歩留りへの提案

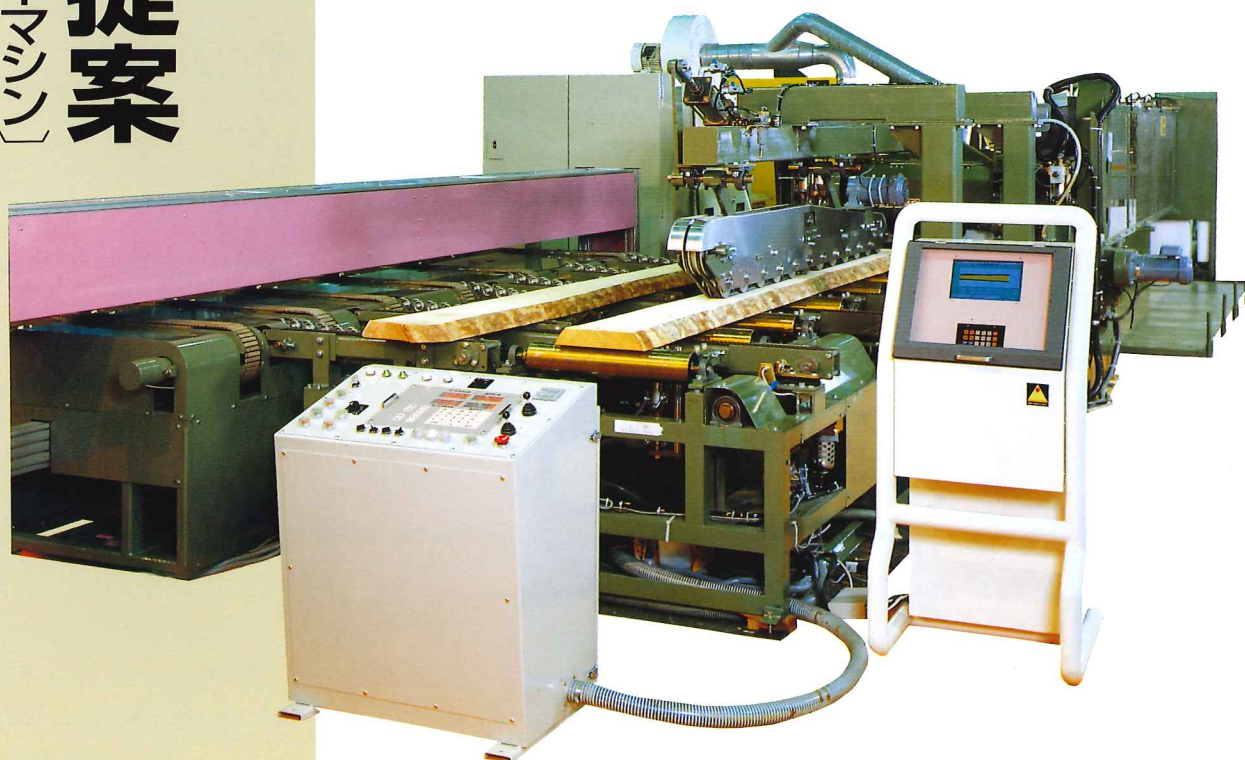
ニーズは—— 両耳付き材の巾決め木取りは、ギャングリッパの前処理としての倍数計算取りや、平角・平割・正角取りなどがあり、いままでこれらの作業は熟練と経験に頼って行なわれてきたため、能率や歩留りも悪く、こうした現状を打破する新しい自動化システムの実現が強く望まれてきました。

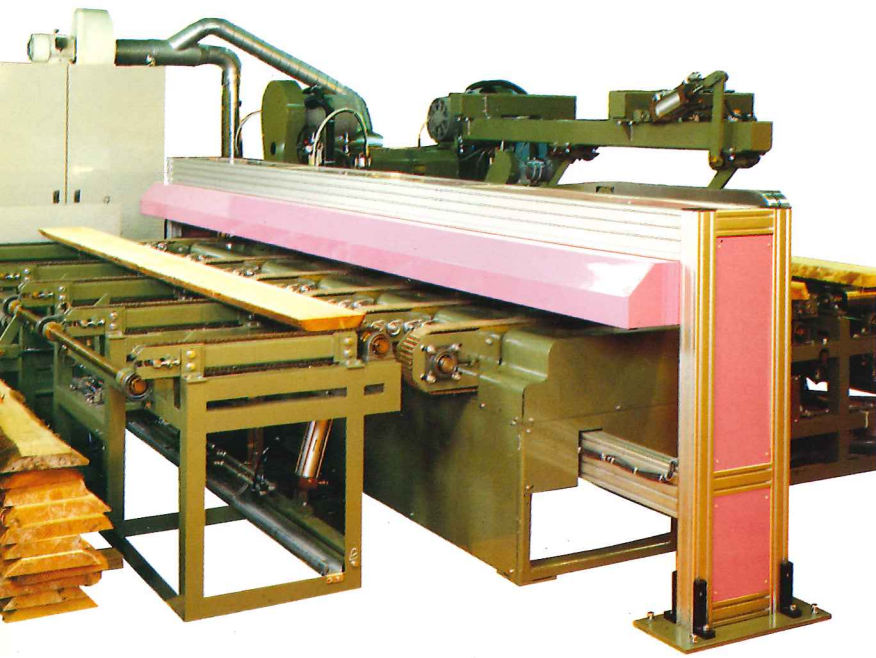
機構は—— この装置は両耳付き材の千差万別な形状を、最新のコンピュータや計測、検出機器を駆使して、高速で上下両面から材の形状を認識し、最適な木取り巾を演算し、切断位置の姿勢を制御し、演算通りの巾に切断し、製品と両耳を仕分けするという革新の現代にふさわしいハイ・テクノロジーな自動形状認識装置を中心としたジョイントマシンです。

木取りは—— 最適な木取り巾の決定は、ユーザーの希望にもとずいて右基準、左基準、センター基準、コンピュータの判断にもとずいた歩留りの良い自動基準などを選択でき、また歩留りを向上させるための副製品取りを加味した木取りも行なうことが可能で、各社各様の木取りの方法や、工場レイ・アウトに対応できるようになっています。

形状認識は—— 両耳付き材の形状認識は、上下両面を同時に行うので、搬入材は木表、木裏が混みで入っても良く、しかも横送り移動中に形状認識が行なわれるのでタイム・ロスが無く、さらに材の長さや、厚みも同時に検出されます。

材厚の混材は—— 材の厚みを1ミリ単位で検出するので、例えば複数のギャングリッパで異なる製品取りをしているようなラインでは、厚み別の倍数計算取りや、その行き先指定をすることができ、厚みの違う材が混みで入ってきてもそれに対応することができます。





KJ-1 (形状認識装置付き自動給材装置)

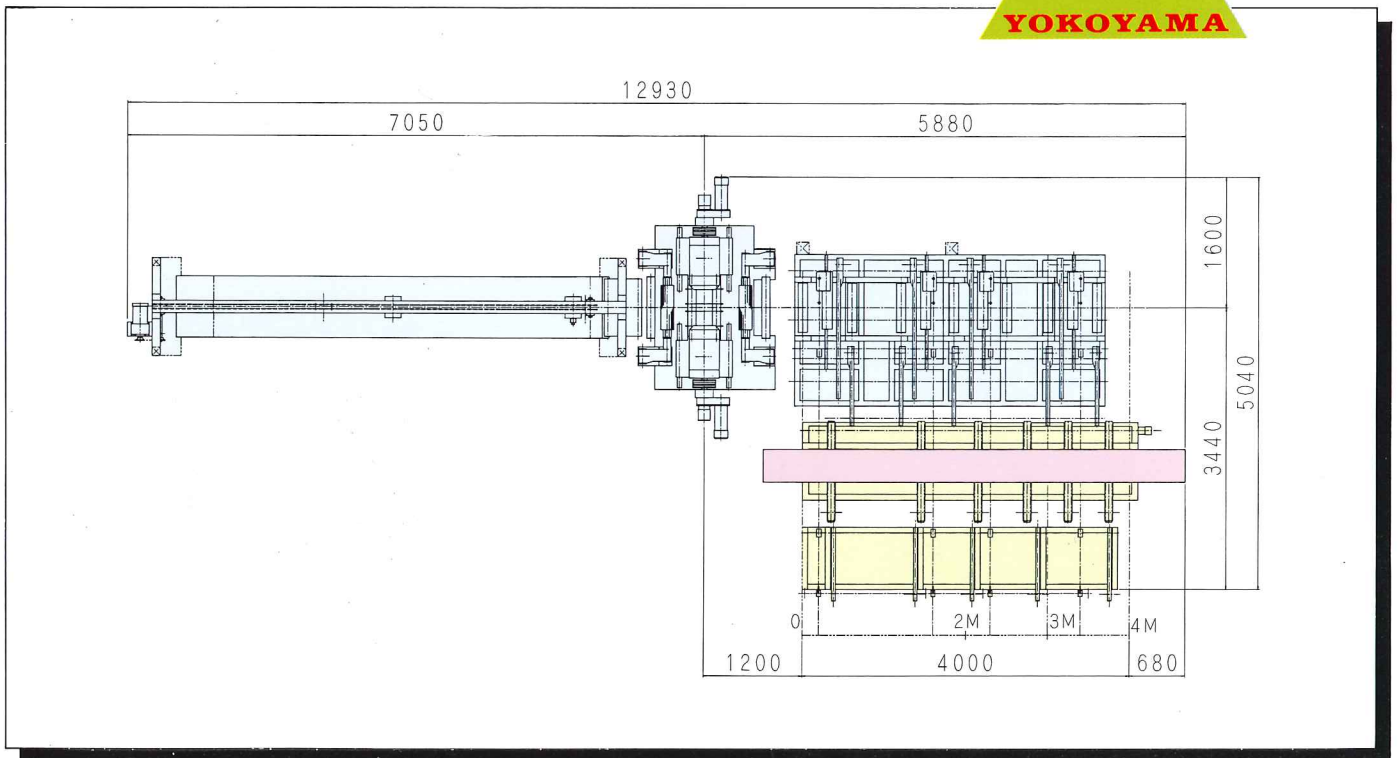
認識する材の長さ	1.8m~4.0m
認識する材の巾	90mm~500mm
認識する材の厚み	12mm~130mm
認識するポイント(4m材のとき)	上下両面×7ポイント
画像表示部	9.8インチカラーLCD
使用モータ	0.6KW×2台 0.4KW×5台

HCR-460 (巾決め用ツインオートリッパ)

鋸間の開き	90mm~460mm
挽きうる材の厚み	12mm~130mm
使用する丸鋸径	455mm~510mm
送材速度(毎分)	20m~120m
鋸軸用モータ	22KW~37KW×2台
使用モータ	1.5KW×2台 0.75KW×2台

HCR-M (専用仕分け装置)

使用モータ	1.5KW×1台 0.75KW×1台
-------	-----------------------



●本カタログの内容は改良のため予告なく一部変更になる場合があります。

■ 製造発売元

YIW 横山鐵工株式会社
YOKOYAMA IRON WORKS CO., LTD

■ 代理店

〒421-0303 静岡県榛原郡吉田町片岡358-1
TEL 0548-34-0700(代) FAX 0548-34-0723